

発行：2007年9月25日/発行責任者：特定非営利活動法人 シャンティ山口 代表 角 直彦
連絡先事務局 〒753-0215 山口市大内矢田 717 佐伯昭夫 電話/Fax 083-927-4083
ホームページアドレス：<http://www.shanti-yamaguchi.com/>

「地球環境基金」助成事業 内容公開



「地球環境基金」

平成17年度から継続中の環境衛生事業を今年度は、エコトイレに加えてトイレから発生するメタンガスを利用した家庭用燃料の開発を行います。

去る5月には、シャンティ学生寮の「豚」によるガス発生装置を開発し、順調に稼働を続け寮生50人分の、台所を賄っています。(パヤオレポート2007-2参照)

これに引き続き本事業は、特に開発途上国のトイレに起因する伝染病等で子供を中心として多くの死者が出ていることや燃料消費・農業生産・安全な飲料水問題など、生活に欠かせない自然サイクルの中で「発生源で元を絶つ」一連の循環をモデル化しシステムとして開発するものです。(エコトイレ「人糞」+メタンガス+野菜栽培+堆肥+水のリサイクル=無放流)循環型社会の形成に於いて不可欠な事業でもあります。

なお、独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金の助成で実施します。

家庭用燃料製造装置の開発実践

趣旨・目的

タイ国の山岳少数民族の村において、便所の尿尿を嫌気処理し、無放流、メンテナンスフリーのエコトイレシステムを設置すると共に、嫌気処理の過程で発生したメタンガスを家庭燃料として使用する一連のシステムを開発する。

地域の衛生環境の改善と農業への利用及び家庭燃料としての利用を中心に設置指導を兼ねたシステムを実践し、普及していない村や従来の便所に起因する回虫や伝染病等不衛生による病気の回避に加えて河川・湖沼の富栄養化の原因である窒素・磷を畑の作物に吸収させ肥料として利用する。

地域の気候風土に沿った自然素材を使用し、土着菌の特質を最大限に生かした生物浄化と土壤に生息する微生物による分解作用を利用する。

この処理液による自然農法の提唱と地域住民の生活の向上に併せて広範な地域の衛生環境保全及び、トイレからのガスにより家庭用燃料の確保を図り薪の使用を減少させることにより地域の森林を守り、エネルギーの節約と地球環境保全に寄与する。

タイ政府が定住化を図るため作られた自立発展途上の村落。衛生環境も極めて悪く、便所は、地下浸透はむろん垂れ流しの集落が大半である。雨期になると地層、土質の影響もあり地下浸透が緩慢となって糞尿が地上に溢れ、地下水を汚染させると共に、これにより寄生虫・はえ・蚊等が異常発生し病原菌の繁殖を促し食生活、健康・衛生管理に悪影響をもたらして付近の衛生環境が損なわれ極めて劣悪な状況となっている。

加えて、タイ政府は、森林伐採を禁止したため生活様家庭燃料は、村で管理する小規模の山林のみで薪も配給制度となっているため、冬期暖房や、煮炊きは制約され生活に支障を来している。

便所も普及したとしても従来の方法では、環境悪化が進行するだけで地域環境の改善や環境保全にはならず、

問題解決にはならない。開発途上国といわれている地域に限らず、地球環境の保全は急務であり、森林の減少、生活排水による河川、湖沼の汚染は近年著しい。一刻も早く、地域ごとに「発生源で元を絶つ」ことで解決しなければ、自然環境は破壊され修復不可能なる。

このシステムは、人の生活循環の中で無駄なく自然の作用を最大限に活用したシステムであり、電気・動力など人工のエネルギーを必要としない。食べるだけでもままならない山岳民族にとって設置も安価で畑としての利用や地下水の安全性・病原菌からの回避、加えて燃料確保ができる。

また、維持管理費もほとんど不要で地域環境保全の持続できる最適のシステムであると共に循環型社会形成のモデルとなり普及の広がりにより地球温暖化防止の一躍を担う。

本事業の実施経過報告等は、逐次パヤオレポートでお伝えします。（ホームページ掲載）

山口南ロータリークラブからのプレゼント

山口南ロータリークラブ 平成19年度寄付金配分事業



国際奉仕委員会 加藤慶昭 委員長から寄付金の贈呈



角代表による お礼のご挨拶 並びに現地状況・活動報告



国際奉仕委員会 加藤委員長の思いから

顔の見える支援を目指して本年度の事業計画の柱であるタイ国の、教育の機会に恵まれない子ども達への支援に取り組むに当たり「シャンティ山口」事務局長を訪ねた。4月に角代表の卓話がきっかけで、当クラブの国際奉仕事業として何かお手伝いができるのではと思いません、活動内容をより詳しく聞かせていただいた。

本当に相手の顔の見える支援をしようとするならば、まずは、その地を訪れそこに住む人々の暮らしぶりを見て、真に望む者は何かを的確に探ること。単にもの、金を送ることは、慎むべきことです。そこに住むひとびとの創意、工夫、生きる意欲を引き出すように一緒に行動することが支援の鍵です。また、支援の内容を絞り時間をかけての支援など、中途半端にならないようじっくりと取り組むことが必要です。真の支援とは、何であるか「活動は、組織のためのものであってはならない」「支援者の思いを忠実に伝え、する側とされる側が信頼と理解のうえにこそ成り立つもの」「絆が生まれなければ、支援の意味は薄れる」「支援は、絆づくりともいえる」支援の内容には、限りがない、最低限の自立を支援しその輪を広げていく波及効果が期待できるような支援を目指している。・・・

シャンティ山口の活動、その支援のどの部分を担うか、どのような時間、スパンでかわるか、数あるプロジェクトの中から選択し、慎重に取り組みたい。とにかく一度現地に行かなくてはならない・・・。

—活動募金にご協力をお願いします。—